

# 地域とともにある学校

コミュニティ・スクールだより

## 《6年 安芸国分寺見学》

10月19日（木）6年生が安芸国分寺の見学を行いました。

安芸国分寺は、昨年11月、国の「重要文化財」に指定され、現在史跡公園として整備されています。本校校区に国の「重文」があることは、子供たちにとって自慢でもあり、誇りの持てることです。

今回の見学の目的は、社会科歴史学習「聖武天皇と東大寺大仏建立」に関わる全国での「国分寺・国分尼寺」の建設。併せて学習発表会で行う総合表現「ふるさと安芸国分寺」に向け、表現の工夫・充実に生かすというものです。

当日は、国分寺第147代住職である有瀬光宗様から、安芸国分寺の歴史、発掘作業によって明らかになったこと、そして今日、公園と整備されている経緯などについて説明を頂きました。

児童にとっては身近な存在であり、ほとんどの児童が「参拝したことがある」「遊んだことがある」と言っていました。また、「どのような建物があつたのか」や「本堂」などは「火事」によって消失し再建されていることなど、初めて聞く内容に当時の様子を思い浮かべていました。

この見学が2月29日の参観日、総合表現第24代「ふるさと安芸国分寺」の発表に生かされることを期待しています。



## 《令和5年度 第2回学校運営協議会の開催》

10月24日（火）に第2回の学校運営協議会を開催します。

当日は、委員の方々に「本校児童の良さ」「課題」「地域としてどのような子どもに育てたいか」「そのために本校教育にどのような取り組みが必要か」について、まず、初回の「熟議」を行っていただく予定です。

「コミュニティ・スクール」の推進には、子どもたちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切だと言われています。

今回が第1回目ということで「入口」の話になるかと思いますが、今回をスタートに地域においても子どもたちのことを話題にして「地域としてどう育てるか」について目標、ビジョンにつながることを期待しています。

## 《第11回 読書紹介文コンクールとコミュニティ・スクール》

今年で第11回を迎えた「読書紹介文コンクール」は、自分が読んだ本の中から「薦める本」を紹介する「紹介文」を書くという東西条小学校独自の取り組みです。

当時「ゲームばかりしないで、もっと読書に親しむ子に」という、保護者、地域の方々の願いは、国や県、東広島市の「読書活動推進」の取り組みに生かされ、それぞれの学校も独自に「読書活動」を推進していました。

朝の時間に行う「朝の読書」や読み聞かせボランティアによる「絵本の読み聞かせ」など、それぞれの学校が工夫を行って「読書に親しむ児童の育成」に取り組んでいました。

東西条小学校は、こういった取り組みに加え、新たに「読書紹介文コンクール」を始めました。2年生以上の児童が、自分が読んだ本の中から紹介したい本を選び、どんな人におすすめかを考え、その本の「良さ」「面白さ」「素晴らしさ」を伝えながら読んでみたいと思う文章を書くというものです。



この紹介文の審査に当たって下さる方は、第1回から外部の方にも加わって頂きました。絵本作家であり、多くの小学校や保育所・幼稚園で「読み語り」の活動を行っておられるアスクライブラリー社主 朝川 照雄様。株式会社プレスネット編集長 日川 剛伸様。そして東広島市教育委員会指導主事の先生にも加わって頂き、審査を行って頂きました。

入賞作品は、リーフレットにして全保護者に配布するとともに、「プレスネット東広島」に記事として掲載されました。さらに、児童が紹介文を音読したものを「FM 東広島」の番組内でも放送していただきました。今年も同様に行う予定です。

今年度から始まった「コミュニティ・スクール」は、11年前に始めたこの取り組みと、関連があるように感じています。

一つは、学校が「何を目的・目標に」「学校の授業に位置づけ」「どのような方法で」行うのかを明確にしたうえで、「地域」の方々の協力を得て「継続的に」進めているという点です。これは、5年生「稲刈り体験」や6年生「総合表現 ふるさと安芸国分寺」も同様です。

二つ目は、保護者、地域の方々の「児童の良さ」「児童の課題」「児童に期待すること」等を反映した取り組みであるということです。「ゲームばかりしないでもっと読書を」「活字離れが心配」「本を読む力は大切」と保護者・地域の方など誰もが願うことに学校としても取り組んでいるということです。

コミュニティ・スクールは「地域・保護者と思いを一つに、力を合わせて子どもの成長を応援する」仕組みではないかと思います。今後も、保護者、地域の方と共に取り組めるよう進めてまいりたいと思います。